

ク ラ ブ 管 理 運 営 委 員 会

委員長 塚本 慎一郎
副委員長 三枝崎 一丸

この委員会は、クラブ奉仕・出席・プログラム・スマイル・親睦活動・大会出席奨励の各委員会と協力しながら、クラブ活動の運営を向上させるように努める。

2021-2022 クラブ奉仕委員会事業計画

クラブ奉仕委員会

委員長 塚本 慎一郎
副委員長 三枝崎 一丸

I. 活動方針

会員相互の親睦を図り、クラブ内のモチベーションを上げ、会員各自が楽しめる例会になるように努める。

II. 事業計画

- ① IDM の開催 年4回 (8月・11月・2月・5月)
- ② 新会員セミナーの開催。
- ③ 出席率の向上。
- ④ その他

III. 予 算 5,000 円

出席委員会

委員長 山口 敬司

副委員長 稲本 薫

委員 西崎 徳彦

I. 活動方針

出席率を上げる為にメイキャップを円滑に促すようにする。

II. 事業計画

毎月配布される例会予定の中に八代の他のクラブへメイキャップする旨、促す文面を入れる。

III. 予算 50,000 円

IV. その他

休会が無駄足をしないように、八代のクラブに関しては、休会日程を周知する。

※新型コロナ禍ではございますが、少しでも出席率が上がりますように努めて参りたいと思います。

プログラム委員会

I. 活動方針

本年度は、ロータリーの月間テーマに沿った形で、テーマの意義を理解していただくためにも、各会員の関心が深まるような内容で計画して参ります。外部卓話では地域の話題や身近なテーマなどを盛り込み、また会員卓話では自身の職業について会員相互に関心を持ってもらえるような内容にして、今後のロータリー活動に役立てていただければと考えます。

例会の卓話構成が各会員に興味をもってもらえるように、そして出席率の向上に繋がるよう努めます。

また、昨期において休会で消化しきれていない卓話等に関しても、今期実施できないか検討を行なっていきます。

II . 事業計画

- ①各会員の職業について理解を深めるための会員卓話をいただく。
- ②ロータリーの月間に応じた卓話を行い、会員にロータリー月間の意味を伝える。
- ③その他、会員の興味を持たせる外部卓話を企画する。

- ④昨期消化できなかった卓話等に関して、今期実施できないか検討する。

III . 予算

100,000 円

IV . 実績

V. その他

スマイル委員会

委員長 飛石 幸弥
副委員長 中道 和幸
委員 山本 雅子

I. 活動方針

会員・家族・事業所等であった慶事や祝い事、日常の生活の中で嬉しかった事や幸せに感じた事、感謝の気持ちなどを披露し、会員皆で喜びを分かち合う雰囲気作りに努める。また、スマイルを通じて会員の親睦をより一層高め、社会に還元する。

II. 事業計画

- ① 年間目標 100 万円 VSOP の心を持ち続ける。
- ② スマイルを通じて奉仕活動資金とし、社会に還元する。

III. 予算 1000 円

IV. 実績

V. その他

親 睦 活 動 委 員 会

委員長 宮田 康治

副委員長 園川 忠助

委員 松岡・坂本・稲本

I. 活動方針

恒例の親睦会を通して会員相互の友情をより深める。会員及び華輪の会とともに開催するイベントなどをサポートして友情をはぐくむ機会を作ります。また友好クラブとの親睦をより一層深める機会を作りたい。

II. 事業計画

- (1) 会員の誕生祝い、結婚記念のお祝い（予定：毎月第1例会）
- (2) 4RC 合同新年会の開催、ゴルフコンペの参加
- (3) 家族親睦会の開催

（案）

1. ガバナー公式訪問歓迎会
2. 忘年会
3. 観月会
4. 4RC 合同新年会
5. 花見の会
6. 慶寿の会
7. 南 RC ゴルフコンペ 有志
8. 国際奉仕委員会との連携を図り親睦会の開催

III. 予 算

¥500,000

大会出席奨励委員会

委員長 里 順一
副委員長 湊田 仁志

I、活動方針

今年度の活動方針は、他のロータリークラブ会員間の交流を軸に、ロータリーの各種大会に参加することを奨励します。

II、事業計画

各種大会への出席の奨励（予定確認中 2021.6.1）

- ① インターアクト年次大会
- ② 財団セミナー
- ③ ロータアクト年次大会・財団セミナー
- ④ 職業奉仕、社会奉仕・公共イメージ
- ⑤ 第5分区 IM
- ⑥ 財団セミナー
- ⑦ 地区チーム研修セミナー
- ⑧ 大分中央 RC
- ⑨ 地区チーム研修セミナー
- ⑩ 地区大会（5/13・5・14）
- ⑪ 地区研修協議会（4/4）
- ⑫ 国際大会 於アメリカ テキサス州 ヒューストン（2022年 6/4～6/8）

III、予 算

1,000 円

公共イメージ委員会

委員長 松岡 隆志

ロータリーに関する素晴らしい情報を地域や関係する全ての方々へ伝えることを目的とする。クラブ内の広報すべき情報やインターアクト、八代南 VSOP について対外的に発信していくように努める。

広報委員会

委員長 松岡 隆志

副委員長 藤崎 智

委員 松嶋 宏

平

I 活動方針

ロータリーの活動を最新の SNS やホームページ等で発信し、中高生で形成されるインターアクトの重要性や将来性を重視また、SDGs と絡めた八代南 VSOP を対外的に広報していく。

II 事業計画

- ①ホームページの充実
- ②SDGs を絡めた会員事業所の紹介
- ③インターアクトの活動紹介
- ④その他活動の紹介

III 予算

150,000 円

IV 実績

V その他

ロータリー情報委員会

委員長 守田 憲行
副委員長 坂本 幸成
委員 豊岡 宏一
藤崎 智

I. 活動方針

ロータリーに関する理解を深めるため、常に会員に情報の提供ができるように努める。

II. 事業計画

新入会員に対するインフォメーションは会長、幹事、推薦者とともに研修会を通じて勉強会を開催する
例会時を利用して、その都度新たな情報を提供する

III. 予算 1000 円

IV. 実績

V. その他

ク ラ ブ 会 報 委 員 会

委員長 緒方 光治
副委員長 鮫島 寛之
委員 續 協典

I. 活動方針

毎週発行するクラブ会報を通じて例会の状況や各委員会の活動状況並びに八代南V・S・O・Pの累計金額等を会員、会員の家族の方にも周知し、当クラブの活動内容や魅力を十分に発信することに努め、読む人が読みたくなるような紙面作りを心がける。確実にクラブの歴史を記録するために努める

II. 事業計画

- ① 例会や各委員会の活動及び情報の提供をする。
- ② 例会やクラブ活動の様子や雰囲気が分かるような記事を提供する。
- ③ 発信者（卓話者含む）への原稿依頼を確実にする。
- ④ 週報誌面の余白があれば、ロータリー情報を掲載する

III. 予 算 800,000 円

IV. 実 績

毎例会分発行

V. その他

雑 誌 委 員 会

委員長 沼田 啓后
副委員長 岡村 宗明
委員 西田 龍一

I. 活動方針

ロータリーの中で唯一の情報誌として（ロータリーの友）が会員間で読まれている。内容の紹介を機会がある毎に紹介する

II. 事業計画

- ① 事前に（ロータリーの友に）目を通し、意義のある項目があれば例会にて紹介したい。
- ② ω会員の購読状態をみて（ロータリーの友を）活用し、外部への広報に役立てたい

III. 予 算 1000 円

IV. 実 績

V. その他

会員増強委員会

会員拡大と会員数の維持は、クラブ運営にとってとても重要な部門です。今の時代に沿った職業分類の見直しを行い、会員候補者の発掘に力を入れると共に、会員選考委員会と協議しながらスムーズな委員会運営で会員増強を図っていきます。

会員増強委員会

委員長	西崎	徳彦
副委員長	柳口	崇
委員	山口	敬司
	長野	俊一

I. 活動方針

会員増強と退会防止は、どこのクラブでも抱えている課題です。せっかく入会者がいても、理解不足で退会してしまう、という事態にならないよう防止策も取っていかねばなりません。入会候補者には、チェックシート及び推薦者からの活動内容の説明、入会后楽しく参加してもらえるようなフォロー体制作りなど、クラブ活性化に取り組んで参ります。

II. 事業計画

- ①現会員に向けて、入会に向けてのチェックシート活用を奨励する。
- ②入会後の新会員オリエンテーションの実施。
- ③純増1名以上、女性会員1名以上の増強。
- ④職業分類委員会、会員選考委員会と連携し、職業分類の整理・見直しと会員候補者の発掘を行う。
- ⑤IDMや例会時に会員候補者の情報交換を行う。

III. 予 算 5,000円

IV. 実 績

V. その他

職 業 分 類 委 員 会

委員長 久原 征

副委員長 清田 秀範

委員 中川 逸男

猪俣 裕紀洋

I. 活動方針

会員増強委員会の所属する一委員会として、増強委員会、会員選考委員会と協力し、会員拡大に努め、新会員入会後は職業分類について補填していきたい。

II. 事業計画

会員増強委員会、会員選考委員会と会員増強に協力し努力する。
必要になれば、職業分類表の見直しも検討する。

III. 予 算 1000 円

IV. 実 績

V. その他

会 員 選 考 委 員 会

委員長 淪 義輝
副委員長 小林 英幸

I. 基本方針

推薦会員の意見をふまえ、職業分類、会員増強、各委員会と協議し、公正・公明な選考に努める

II. 事業計画

2019年からのコロナの時代を生き抜き、生業にチャレンジする事業家を選考できる様に努める

III. 予 算 1000 円

IV. 実 績

V. その他

奉仕プロジェクト委員会

委員長 下田 和利

I . 活動方針

世界中のロータリアンにより長い年月をかけて形作られてきたロータリーの目的（表紙裏記載）及び 2021-2022 年度 RI 会長が発表した、年度テーマ「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」を会員それぞれが理解、咀嚼して、これを自分たちが関わる職業奉仕、社会奉仕、青少年奉仕、国際奉仕活動に具体的にどのような形で反映させていくべきかを議論し、当クラブがいかにして地域の「リーダー」になり得るかという視点で各委員会の活動を展開したい。

職業奉仕委員会

委員長 下田 和利

副委員長 猪股 裕紀洋

委員 沼田啓后

I . 活動方針

ロータリーの理念、年度テーマ、奉仕プロジェクト委員会の活動方針のもと、職業奉仕という分野を掘り下げる。

会員それぞれが自分自身を律し、事業を行い、事故の職業上の手腕をもって社会に奉仕するという職業奉仕の理念を深化・具体化させるような活動を行う。

II . 事業計画

- ① 職業訪問例会の実施
- ② 新会員セミナーの実施
- ③ VSOP 活動の維持 推進
- ④ その他（プログラムに会員卓話を計画して、各社の経営方針 etc. を発表していただく）

III . 予算 30,000 円

社 会 奉 仕 委 員 会

委員長 上原 治
副委員長 續 協典
委 員 園川 忠助

I. 活動方針

本年度の地区ガバナーのスローガン「ロータリーを信奉し、奉仕に行動しよう」に基づき、地域社会に役立つ活動をしたい。そして会員相互の理解と意識を高め、公共イメージアップにつなげたい。

II. 事業計画

- ① 全市的に行われる、球磨川河川敷の清掃に参加（8/26）
- ② 懐良親王陵の清掃（5/7）
- ③ 青少年奉仕委員会への協力
- ④ 奉仕プロジェクト委員会との連携
- ⑤ 地域社会のニーズを探ることに努める
- ⑥ 地区セミナー等へ参加
・10月27日（土） 熊本

III. 予 算 30000 円（移動例会等）

IV. 実 績

インターアクトクラブと合同での懐良親王陵清掃活動実績

V. その他

青少年奉仕委員会

委員長 富 晃之介

副委員長 谷川裕一郎

委員 宮田康治・神園敬八郎・柳口崇

I 活動方針

「青少年奉仕は未来への奉仕」この言葉を胸に、我々八代南ロータリークラブは何をすべきか、何ができるかを考え、実践します。

青少年奉仕への取組みを、活動のやりがいや会員獲得につなげていきたいと考えています。地域における青少年奉仕とより広い視野での青少年奉仕の両輪で、委員自身も青少年の気持ちで頑張っていきたいと思えます。

本年度より、青少年奉仕委員会の中に、インターアクト委員会を設置することになりました。

II 事業計画

- ① 青少年奉仕委員会会議（適宜）※インターアクト委員会含む
- ② 八代市小・中・支援学校総合文化祭の支援
- ③ 八代市弓道大会の支援（ロータリーデー併催）
- ④ 河川敷八代地区タグラグビー大会（ロータリーデー併催）
- ⑤ キッズ・フラワー・プロジェクト III 予算 100,000 円
 - ① 弓道大会支援（30,000 円）
 - ② タグラグビー大会支援（30,000 円）
 - ③ キッズフラワープロジェクト（30,000 円）
 - ④ 予備費（10,000 円） IV 実績
 - ① 八代市小・中・支援学校総合文化祭の支援
 - ② 八代市弓道大会の支援（ロータリーデー併催）
 - ③ 八代地区タグラグビー大会（ロータリーデー併催）
 - ④ キッズ・フラワー・プロジェクト V その他

インターアクト委員会

委員長 山本雅子

I 活動方針

昨年度設置したやつしろインターアクトクラブの活動をサポートするとともに、インターアクターとロータリアン、インターアクター同士、他のインターアクトクラブのメンバーとの交流の機会を確保するとともに、やつしろインターアクトクラブの活動を周知し、中高生らに自己有用感や自己肯定感を高めさせ、地域社会や国際社会に貢献できる人材育成に努めたいと思います。

II 事業計画

- ① やつしろインターアクトクラブの活動推進及び周知
 - (1) 毎月第一日曜日の奉仕の日
 - (2) 学習支援ボランティア
 - (3) 保育園児へのスポーツ支援
 - (4) 募金活動
- ② インターアクターの経験値をあげる取り組み
- ② ロータリーメンバーとインターアクターの交流機会を作る
- ③ ロータリークラブの活動や青少年奉仕委員会の活動について、インターアクトクラブのボランティアを募る

III 予算 300,000 円海外研修費補助 100,000
円地区大会参加費補助 100,000 円
ボランティア活動経費等 50,000 円
備品等購入費 50,000 円

IV 実績

- ① 創立総会
- ② 市長への義援金交付
- ③ 奉仕の日ボランティア
- ④ 仮設住宅へのボランティア（餅つき、グリーンカーテン）

V その他

国際奉仕委員会

委員長 中道 和幸
副委員長 淪 義輝
委員 前田 満洋
上原 治

I, 活動方針

国際奉仕とは「ロータリアンの世界的親交により国際間の理解と親善と平和を推進する」となっています。八代南ロータリークラブは台湾基隆東ロータリークラブと長年に渡り国際間ロータリアンとしての国際間の理解と親善交流を行ってきました。インタークラブを交えての親善親睦交流の機会を検討実施していきたいと思います。

II, 事業計画

1. 台湾基隆東ロータリークラブ 45 周年記念例会参加
2. インターアクトクラブを交えて国際交流
3. 国際大会（ヒューストン）への参加奨励

III, 予算

100, 000円

- ・台湾基隆東ロータリークラブ訪問時インターアクトクラブ会員旅費負担の場合別途計上とします。

IV, 実績

V, その他

ロータリー財団委員会

委員長 市野 誠也
副委員長 宮川 誠也
委員 守田 憲行

I. 活動方針

ロータリー財団委員会は、人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにするために、寄付金を集めることに努力する。

II. 事業計画

- ① 奉仕プロジェクトV・S・O・Pへの参加を促す。
- ② 会員1名100ドル+10%UPの寄付を目標とする。
- ③ 100万ドルの食事を実施する。(年12回)
- ④ コイン缶による寄付を実施する。(毎例会)
- ⑤ 地区補助金、グローバル補助金の活用方法を検討する。

III. 予算 100,000円

IV. 実績

V. その他

ロータリー財団委員会

委員長 市野 誠也

活動方針

1. 「ロータリアンが、世界で健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすること」を使命とするロータリー財団の理解を深め、その使命に貢献できるよう寄付をお願いする。
2. ポリオ撲滅を目指す当クラブ独自の奉仕プロジェクトV・S・O・Pに対する理解を深めてもらえるよう啓蒙に努める。
3. 「日本のロータリーが作った独自の事業であり、将来留学生の母国と日本との懸け橋となつて国際社会で活躍する優秀な留学生を奨学することを目的としている」米山記念奨学会の理念を周知することに努め、特別寄付金について勧奨と拡大に努める。また、米山奨学生の李嘯山さんの世話クラブとして、その責務を果たす。

米山記念奨学会

委員長 松嶋 宏平
カウンセラー 市野・下田・宮田
委員 山本・富・柳口

I. 活動方針

ロータリー米山記念奨学会は、勉学・研究のために日本に在留している私費外国人留学生に対して日本全国のロータリアンからの寄付金を財源に奨学金を支給していることを、特に新しい会員に理解してもらい、お互いに奉仕の心を学びあう機会をつくる。

II. 事業計画

普通寄付と特別寄付を合わせて一人当たり 1 万 5 千円を目指します。
奨学生に卓話の機会をつくる。例会への参加を奨励する。

III. 予算

予算 12 万円 奨学生の李 嘯山さんに卒業時に記念品を渡す。
他クラブ例会参加時の交通費・同行交通費

IV. その他

S A A委員会

委員長 前田 満洋
副委員長 藤永 勝利
委員 里 順一

I. 活動方針

例会がその使命を発揮できるように設営し、運営に協力する。そして品位ある例会に努める。

II. 事業計画

- ① 例会の司会を行い、例会の活性化を図る
- ② SAA 委員は、タスキを着用し、例会の点検を行う
- ③ 100万ドルの食事を12回行い、ロータリー財団に協力する。
- ④ ポリオ撲滅の為、チャリティーコーヒー例会時に行う。

III. 予 算

食事代	1,540 円 × 44 人 × 28 回 =	2,032,800 円
100 万 \$ の食事	880 円 × 30 人 × 12 回 =	316,800 円
	訂正 1,540 円 X30X12 回=	554,400 円
会場費	6,050 円 × 40 回 =	242,000 円
	合 計	2,600,000 円

IV. その他

戦 略 計 画 委 員 会

委員長 鶴田 善久
副委員長 西崎 徳彦
委 員 下田・市野
松岡・前田
中道

I. 活動方針

中長期的な視点に立って、当クラブの「クラブのサポートと強化」「人道的奉仕の重点化と増加」「公共イメージと認知度の向上」を目指し、それに資するための活動をする。

また、ロータリーの中核的価値観である「奉仕と親睦」、「倫理と高潔性」、「多様性」、「職業の知識とスキル、リーダーシップ」について会員への理解浸透に努める活動を、各委員会に奨励する。

II. 事業計画

クラブ奉仕：会員増強及び退会防止策の検討。

出席率向上のため、休みがちな会員への声かけの奨励。

新会員を対象とするセミナーの開催。

大阪仙波 RC との友好クラブ締結についての検討

職業奉仕：職場訪問例会開催の奨励。

職業奉仕理念を理解するために手続要覧の精読を奨励。

八代南 V・S・O・P の浸透を図る。

青少年奉仕：やつしろインターアクトクラブとの連携ならびに支援強化

ラグビー大会等スポーツ大会の奨励。

青少年交換の実施について検討。

キッズフラワープロジェクトの推進

社会奉仕：新たな奉仕活動のニーズの探求。

現在行っている清掃活動等への出席の奨励。

国際奉仕：基隆東 RC との毎年の交流活動への参加の奨励。

基隆東 RC に対し八代南 V・S・O・P への継続した協力要請。

III. 予 算

2000 円

会 計

委員長 永野 俊一
副委員長 谷川裕一郎

I. 活動方針

クラブ資金の保管、並びに資金の受け入れ、支払いの管理に万金を期すとともに、予算編成に大して、十分管理を行う

II. 事業計画

- ① 会費の早期納入による財務の健全化推進
- ② 正確、迅速な入金処理
- ③ 堅実な記帳、財務伝票の整理、保管
- ④ 予算編成への協力

III. 予 算